

特定非営利活動法人いわて連携復興センター

平成 24 年度 事業報告書

# 平成24年度 事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人いわて連携復興センター

## 1 はじめに

平成24年度は、岩手県沿岸部で活動するNPOを支援するという明確な方針の元、法人設立以降構築された連携の土壌をさらに醸成させ、被災地の課題解決に向け行政・NPO・企業等と協議を重ねるとともに、県内外の支援資源と被災地域とのマッチングや、被災地で活動するNPO等の運営サポートを行い、一日も早い復興を目指し各セクターと連携を果たしながら日々活動してまいりました。

今年度の事業の柱となった平成24年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業においては、昨年度行った個別訪問、会議の主催、参加などによる各機関、団体との関係性の構築を今年度も行いながら、さらに信頼関係を深め、行政や市民活動団体の間に入り、課題解決に向けた場を作ってきました。今年度はさらに県内外の企業とも情報交換の場や、支援の方策を練る機会が増え、これまで中心となっていた行政・市民団体とのやり取りから一つ段階を越えた多様な連携体制を築くことができました。岩手県と日本マイクロソフト株式会社が締結した「地域活性化協働プログラム」の覚書に基づくNPO向けのプログラムのコーディネートや、ジョンソンエンドジョンソン株式会社様のご寄附を元に、公益財団法人日本財団様と実施した「被災地の仮設住宅におけるコミュニティ形成のための支援制度の普及事業」などについては、企業連携の大きな成果と言えます。

新しい公共の他にも、きたかみ復興支援協働体・きたかみ震災復興ステーション事業や市民活動団体育成強化プロジェクト、東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業（岩手）など、昨年度から引き続き継続して行われた事業においては、これまでのノウハウを生かしながら、より密な活動が行われた他、新規事業については、私たちのこれまでの活動を評価していただき、今沿岸部で必要な支援を多様な機関と協働で行うことができました。

この1年間の関係各位のご指導、ご協力に厚く御礼を申し上げ、実施各事業について事業報告をさせていただきます。

## 2 実施事業

### (1) 地域コミュニティの再生を図る事業

#### ○岩手県連携復興会議の運営

岩手県復興局生活再建課と当法人で協議体、岩手県連携復興会議を組織し、昨年度からの継続事案として、新しい公共の場づくりのためのモデル事業を行いました。今年度は「自立復興に向けた、NPO、コミュニティ等への連携支援事業」として、昨年度のマッチング事業において、個別訪問、会議の主催、参加などにより、実績ができただけでなく、各機関、団体との関係性を築く事ができたことを受け、今年度はそれらを更に活用し、被災地のNPO、コミュニティへの連携支援事業を展開し、自立復興を目的とし、活動を行いました。具体的な実施内容は、①NPO支援、②コミュニティ支援、③官民、官官、民民連携の促進、④企業との連携を行い社会起業家育成に向けての意識の醸造をはかる、以上の4つです。今年度も昨年度に引き続き、定期的（月2回開催される協議体ミーティングで共有し、支援活動の方策としました。この協議体ミーティングにおいては、案件に応じて岩手県復興局生活再建課以外の各部署や復興庁、企業等が参加し、支援というテーマに対して様々な分野から活発な意見交換が行われる場となったことは、本活動における大きな成果になったと言えます。

## 【平成 24 年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業

### 「自立復興に向けた、NPO、コミュニティ等への連携支援事業」活動実績】

#### ①NPO 支援（日本 NPO センター、内陸 NPO 等と連携し、NPO 支援スキームを実施）

沿岸部の市町村ごとに担当をつけ、そこから上がってくる団体の運営（会計や労務管理等）や資金獲得（助成金申請の書き方等）の相談に対応しました。また、岩手県と日本マイクロソフトによる協定における「NPO 基盤強化プログラム」の現地コーディネートをいわて NPO 中間支援ネットワークの一員として行い、県内の NPO へ ICT を利活用することによる業務効率向上の機会を創出しました。その他、被災地支援を行う団体からの労務・会計の相談など、被災地で活動する団体の支援も昨年引き続き行いました。

#### ②コミュニティ支援（日本ファシリテーション協会等と協働し、地域ワークショップの実施）

大槌町の支援団体を対象に、コミュニティ支援のためのファシリテーション研修を、日本ファシリテーション協会と協働で実施（下記その他主催・共催のセミナー及び会議を参照）したほか、沿岸部のコミュニティ支援などに人材を沿岸地域に派遣する「いわて復興応援隊（岩手）」において、新潟県をはじめとする他県の事例を共有するための「コミュニティ支援情報交換会（平成 25 年 1 月 18 日 北上市）」の開催や「みやぎ復興応援隊」の研修参加による情報収集など、事業の後方支援を行いました。

#### ③官民、官官、民民連携の促進（個別訪問、会議の設営、運営などを実施し、ネットワーク形成）

内陸避難者支援連絡ネットワーク会議（弊法人主催）、地域活性化ミーティング（仮設分科会より発展したもの。ジャンププラットフォームと共催）、JCN 現地会議（JCN と共催）など全県を対象とした連携会議を主催・共催し、団体間の連携と課題の共有・先進事例を学ぶ機会としました。また、大船渡市・陸前高田市をはじめとする市町村単位で行われているネットワーク会議や個別団体訪問により、被災地における情報や課題を吸い上げ、岩手県復興局との定例ミーティングなどで共有を行い支援の方策としました。その他、宮城・福島との月に 1 度の定例会議「3 県連携復興センター会議」では、県境を越えた情報交換を行うとともに、11 月には 3 県の連携復興センターから復興庁へ『コミュニティ形成を支える「官民協働型基金」の実現に向けた政策提言』を行いました。連携の促進を図るために行った主催共催等各種会議の実施状況は下記の通りです。

#### 【3 県連携復興センター定例会議開催一覧】

日時	会議名	参加者数	内容
平成 24 年 4 月 11 日	3 県連携復興センター会議（仙台）	20 名	近況共有。今年度の復興庁の体制について。各省庁の支援施策の現状について等。
平成 24 年 5 月 17 日～19 日	3 県連携復興センター会議及び神戸視察（神戸）	19 名	近況共有。神戸復興塾、神戸まちづくり研究所と意見交換。人と防災未来センター・長田区視察等
平成 24 年 6 月 7～8 日	3 県連携復興センター会議及び長岡視察（長岡）	10 名	近況共有。山古志会館、長岡震災アーカイブセンターきおくみらい等視察。
平成 24 年 7 月 20 日	3 県連携復興センター会議（仙台）	14 名	近況共有。復興基金、復興支援員、新しい公共、県内避難者等について。

平成 23 年 8 月 24 日	3 県連携復興センター会議 (岩手)	16 名	近況共有。復興基金について等。
平成 24 年 9 月 20 日	3 県連携復興センター会議 (福島)	21 名	情報共有。過去の復興支援のメニュー出し次年度概算要求について等。
平成 24 年 10 月 22 日	3 県連携復興センター会議 (宮城)	15 名	情報共有。復興庁政策提言について。
平成 24 年 11 月 26 日	3 県連携復興センター会議・復興庁へ政策提言 (東京)	9 名	情報共有。復興庁へ政策提言提出
平成 24 年 12 月 21 日	3 県連携復興センター会議 (福島)	13 名	情報共有。政策提言についての今後の流れ等
平成 25 年 1 月 28 日	3 県連携復興センター会議 (宮城)	13 名	情報共有。JCN との情報共有について等
平成 25 年 2 月 28 日	3 県連携復興センター会議 (宮城)	19 名	情報共有。3.11 共同宣言について、みなし住宅の転居について等
平成 25 年 3 月 18 日	3 県連携復興センター会議 (宮城)	14 名	情報共有等

#### 【JCN 現地会議 in 岩手 実施状況】(JCN と共催)

回数	日付	開催場所	参加人数	内容
第 4 回	平成 24 年 7 月 14 日	大船渡市 リアスホール	約 100 名	テーマ①「知る」…県内のセクターを越えた連携の取り組み コーディネーター：田尻佳史氏 登壇者：有原 領一氏 若菜 千穂氏 大関 輝一氏 テーマ②「学ぶ」…今後の岩手の道筋を共有するための先進事例 コーディネーター：鹿野 順一氏 登壇者 稲垣 文彦氏 丸山 由明氏 池田 啓一氏 テーマ③「つながる」…ブースに分かれ繋がりがづくり
第 5 回	平成 24 年 11 月 16 日	盛岡市 アイーナホール	201 名	テーマ①「ヒトのはなし」…いままでの「人材」とこれからの「人材」について コーディネーター：石井 布紀子 パネリスト：佐藤 健氏 山内 幸治氏 寺井 良夫氏 菊池 亮氏 テーマ②「カネのはなし」…行政のお金、民間のお金など、活動を続けていくためのファンドとどのように向き合うことが肝要か スピーカー：田尻 佳史氏 西田 紫郎氏 パネリスト：坪井 七夫氏 青柳 光昌氏 城 千聡氏 鈴木 祐司氏
第 6 回	平成 25 年 3 月 8 日	釜石市 釜石地区合同庁舎 大会議室	約 80 名	テーマ①「知る」…行政との連携事例と付随する課題 コーディネーター：葛巻徹氏 登壇者：竹内隼人氏 小池幸一氏 熊谷有祐氏 テーマ②「学ぶ」…行政と民間が連携する意義とあるべき協働のカタチ コーディネーター：田尻 佳史氏 登壇者 臂 徹氏 小野 仁志氏 加藤 勝氏 熊谷 正和氏

#### 【第 1 回若手会議実施状況】(JCN と共催)

回数	日付	開催場所	参加人数	内容
第 1 回	平成 25 年 2 月 25 日	大船渡市ア ーバン	約 80 人	ディスカッション1「学生と共生」 [進行]臂徹氏 [パネリスト] 藤原慧矢氏 多田裕哉氏 岡田勝太氏 佐藤柊平氏 三井俊介氏 ディスカッション2「岩手と若手」 [進行]臂徹氏 [パネリスト]佐々木敦代氏 大久保彩乃氏 黒澤惟人氏 細川星児氏 山内英嗣氏 松崎光弘氏

### 【仮設分科会・地域活性化ミーティング 実施状況】

名称	日付	開催場所	参加数	内容	登壇
第8回仮設分科会	平成24年4月17日	遠野浄化センター	26団体	復興庁によるNPO等が活用可能な予算について。助成財団より情報提供等。	復興庁・地域創造基金みやぎ
第1回地域活性化ミーティング	平成24年7月30日	おらが大槌復興食堂	16団体	団体の活動紹介、各団体からの地域課題提起等	
第2回地域活性化ミーティング	平成24年11月29日	大槌町中央公民館	27団体	各団体の取り組み共有。復興庁によるNPO等が活用可能な予算について。地域活性化を行う上での情報提供。	復興庁・ハリウコミュニケーションズ

### 【内陸避難者支援ネットワーク会議 実施状況】

名称	日付	開催場所	参加数	内容
第1回	平成24年10月11日	いわて連携復興センター北上事務所	10団体	情報共有等。
第2回	平成24年10月26日	いわて連携復興センター北上事務所	7団体	情報共有。岩手県共同募金会、みちのく故郷ネットワークより情報提供。
第3回	平成24年11月27日	ゆいっこ花巻	5団体	情報共有。団体がこれまで開催してきたイベントについて成功談・失敗談を協議。
第4回	平成25年2月27日	いわて連携復興センター北上事務所	9団体	活動情報の共有。各団体における事業計画について共有。

### 【その他主催・共催のセミナー及び会議 実施状況】

日時	会議名	内容	備考
平成24年7月18日	ファシリテーション研修 in 大槌	大槌町を中心とした支援団体へ向けた公開研修会を開催。当法人が日本ファシリテーション協会をコーディネート。	
平成24年7月28日	NPO法人カタリバ代表今村久美氏ミニ講演会	NPO法人カタリバ代表今村久美氏ミニ講演会と交流会	主催：いわて連携復興センター 共催：NPO法人未来図書館
平成24年8月3日	助成金説明会&獲得に向けた企画づくりワークショップ	さなぶりファンズが行う助成事業について、助成プログラムの説明と助成金獲得に向けた規格作りワークショップ。	主催：地域創造基金みやぎ 協力：いわて連携復興センター
平成24年10月14日	第1回一歩塾	講師：愚安亭 遊佐氏、遠藤 邦夫氏	主催：遠野まごころネット、共催：いわて連携復興センター
平成24年11月18日	第2回一歩塾	講師：横路 美喜緒氏、深澤 光氏	主催：遠野まごころネット、共催：いわて連携復興センター
平成24年11月29日	来年度NPOが活用可能な政府復興予算（案）説明会	情報提供者：復興庁参事官補佐 西田柴朗氏	主催：ジャパンプラットフォーム/いわて連携復興センター
平成24年12月9日	第3回一歩塾	講師：佐藤 慧氏、白川 徹氏	主催：遠野まごころネット、共催：いわて連携復興センター
平成25年2月9日	復興の架け橋フォーラム	基調講演：西條剛央氏	主催：岩手県 いわて未来づくり機構 共催：いわて連携復興センター

			興センター
平成 25 年 2 月 22 日	来年度NPOが活用可能な政府復興予算について	情報提供者：復興庁参事官補佐 西田柴朗氏 主査 成澤慶氏	主催：ジャパンプラットフォーム/いわて連携復興センター

#### ④企業との連携を行い、社会起業家育成に向けての意識の醸造をはかる。

被災地支援や社会貢献活動に前向きな企業と意見交換を行うとともに、経団連1%クラブや、岩手県主催の企業交流会などの場を通じて、企業とNPOによる連携の必要性や被災地において必要とされる支援について発信を行いました。岩手県と日本マイクロソフト株式会社が締結した「地域活性化協働プログラム」の覚書に基づくNPO向けのプログラムのコーディネートをいわてNPO中間支援ネットワークの一員として行いました。また東北六魂祭において、株式会社パソナ様との協働事業等を行いました。

#### 【企業と協働事業 実施状況】

日時	会議名	内容	備考
平成 24 年 5 月 26 日～27 日	東北六魂祭	株式会社パソナ様より復興支援ブースの提供を受け、県内の復興支援グッズを扱う団体へお声掛けをし、共同で販売や活動の周知を行った。	共同出展団体：5 団体
平成 24 年 8 月 26 日	第 1 回マイクロソフトとの地域活性化プログラム	課題の明確化・課題解決のプロセスの明確化	参加者数：23 名
平成 24 年 9 月 27 日	第 2 回マイクロソフトとの地域活性化プログラム	事業計画作成と会議進行の ICT 活用について	参加者数：約 20 名
平成 25 年 1 月 21 日	第 3 回マイクロソフトとの地域活性化プログラム	『共感を呼ぶプレゼンテーション』	参加者数：25 名

#### ○被災地の仮設住宅におけるコミュニティ形成のための支援員制度の普及事業（委託事業：公益財団法人日本財団）

仮設住宅団地に人員を配置し、行政と住民のつなぎ役を担う大船渡市・大槌町で行われている仮設住宅支援員配置事業、釜石市の仮設住宅支援連絡員事業の運営ノウハウ面の後方支援を行う事業です。大船渡市・釜石市・大槌町3エリアのマネージャー・統括が集まり、それぞれの課題や状況を共有する「3エリアミーティング」を2～3カ月に1度行うとともに、昨年度も行った仮設住宅環境アセスメント調査を宮古以南の沿岸市町村で2回（平成24年6～8月、平成25年1～3月）行い、仮設住宅にお住まいの方の住環境を把握し、課題の掘り起しを行いました。これらの活動の成果報告と、行政や支援団体へ向け今後別の震災が起きた際などにおける本事業のノウハウの横展開を図ることを目的とした「仮設支援事例共有セミナー」を平成24年11月に宮城・福島、平成25年3月に東京で行いました。宮城・福島でのセミナー開催においては、3県連携復興センター会議等で連携体制が構築されているみやぎ連携復興センター及びふくしま連携復興センターと協働で行いました。

なお、この被災地の仮設住宅におけるコミュニティ形成のための支援員制度の普及事業は、仮設住宅環境アセスメント調査の結果分析等を一般社団法人RCF、大船渡・大槌・釜石の現地調整をNPO法人アットマークリアスNPOサポートセンター及びNPO法人いわてNPO-NETサポートとそれぞれパートナーシップを組み、実施しました。

#### - 「仮設支援事例共有セミナー」開催一覧 -

開催場所	日時	場所	参加者数
------	----	----	------

宮城会場	平成 24 年 11 月 12 日	仙台市市民活動サポートセンター 6 階	約 20 名
福島会場	平成 24 年 11 月 14 日	福島テルサ 3 階 大会議室「あぶくま」	約 30 名
東京会場	平成 25 年 3 月 22 日	日本財団ビル 2 階大会議室	約 30 名

**○復興活動を推進する担い手の連携体制構築と事業支援（助成事業：特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム）** 〈\*助成期間：平成 25 年 2 月～平成 25 年 4 月〉

セクター間の連携の強化と、各セクター主体の連携・協働による包括的な復興を促進するための「連携の場」を創出する事業です。東日本大震災現地 NPO 応援基金事業同様、事業に縛られない統括マネージャーを配置し、当センターを中心として岩手県や沿岸市町村との情報交換・共有を行ったほか、JCN 現地会議や地域活性化ミーティングの運営に携わりました。また、宮城・福島との連携復興センターをはじめとする県外の支援団体との情報交換も本事業により行われています。

**○きたかみ復興支援協働体・きたかみ震災復興ステーション事業（参画事業）**

平成 23 年度新しい公共支援事業を行う上で組織された協議体「きたかみ復興支援協働体」に昨年度に引き続き当法人も構成団体として参画しました。毎週火曜日に行われる定例のミーティングにおいて、支援に関する各種情報の提供や、事務所会議室の提供等を行いました。

**（2）地域の雇用機会の拡充を図る事業**

**○東北未来創造イニシアティブ事業（委託事業：一般社団法人東北ニュービジネス協議会）**

東北未来創造イニシアティブが行う、内閣府・復興支援型地域社会雇用創造事業を活用した復興のリーダーとなる起業家を育成することを目的としたインキュベーションプログラムの北上・釜石事務局と支援対象者のフォローアップを行った事業です。事務局として説明会の実施や応募の取りまとめを行ったほか、岩手県における 4 名の支援対象者に対し、事業のブラッシュアップや、外部起業家とのネットワーキング、勉強会の場づくりや研修の動向などを行いました。東北未来創造イニシアティブ全体として約 30 名が起業し、そのうち岩手からは 4 名全員が起業する成果を上げました。

**（3）都市部と被災地の交流を図る事業**

**○東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業（岩手）**

**（補助事業：公益財団法人東京都歴史文化財団）**

この事業は、東京都が公益財団法人東京都歴史文化財団と共催し、未曾有の大震災の影響により、崩壊や再生を余儀なくされる被災地の地域コミュニティへ芸術文化による復興支援を行なうもので、昨年度に引き続き、当法人は岩手県の事務局として釜石市・大槌町・普代村などで行われた各種プロジェクトのサポートや運営補助等を行いました。

**【東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業（岩手）実施事業】**

- ・釜石アート支援プログラム（釜石市）
- ・ひょっこりひょうたん塾（大槌町）
- ・普代村鶴鳥神楽継承プロジェクト（普代村）

**○ネットワーク推進員支援事業（委託事業：東日本大震災支援全国ネットワーク）**

東日本大震災支援全国ネットワーク（以下 JCN）と協働し、岩手において必要な情報、資源をネットワー

ク通じ全国へ発信する事業です。本事業によりスタッフ 1 名を雇用し、地域課題の共有や先進事例を学ぶ「JCN 現地会議 in 岩手」や「第 1 回若手会議」、被災 3 県の地元物産や手作り品の販売を行う「東北応援ビレッジ」など各種事業の企画運営に携わり、岩手の現状を県外に発信することに寄与することができました。

#### ○みちのく仕事右腕派遣受入事業（寄付事業：特定非営利活動法人 ETIC.）

特定非営利活動法人 ETIC. が行っている、東北の復興を支えるリーダーのもとに、その「右腕」となる人材を派遣している制度を活用し、スタッフ 1 名を受け入れている事業です。このスタッフは地域コーディネーターとして、釜石市・大槌町を担当し、地域内の情報収集やマッチングに携わる一方、企業との様々な案件形成にも携わっています。

#### （４）その他、被災地支援のための連携復興事業

##### ○市民活動団体育成強化プロジェクト（委託事業：認定特定非営利活動法人日本 NPO センター）

この事業は、認定特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンの寄付を受け、認定特定非営利活動法人日本 NPO センターが全国の支援センターと連携し、被災地域（岩手・宮城・福島）の NPO のキャパシティビルディングとリーダー育成を行う事業で、当法人は昨年度に引き続き岩手県の事務局として、「NPO を磨く 15 の力」と題した講座や各種研修の企画運営や一般参加者の取りまとめ、メンバー・メンターのフォロー、基盤強化やインターンプログラムの申請サポート等に携わりました。（岩手からの参加団体数：18 団体…開始当時）

#### - 「NPO を磨く 15 の力」開催一覧-

回	日時	講座名	講師名/参加者数
第 1 回	平成 24 年 5 月 30 日～31 日	【観る力】日本と岩手の NPO の形	山岡義典氏（特定非営利活動法人日本 NPO センター代表理事） 参加者数：32 人
		【興す力】価値を生み出す NPO の姿	手塚明美氏（特定非営利活動法人藤沢市市民活動推進協議会理事・事務局長） 参加者数：32 人
		【提案する力】思いを形に、提案する力	田尻佳史氏（特定非営利活動法人日本 NPO センター常務理事・事務局長） 参加者数：27 人
第 2 回	平成 24 年 6 月 11 日～12 日	【組み立てる力】事業計画を単年度と中長期で捉える	北村恵美子氏（特定非営利活動法人北海道 NPO サポートセンター理事） 参加者数：37 人
		【見通す力】組織財源のあり方と資金管理	田尻佳史氏（特定非営利活動法人日本 NPO センター常務理事・事務局長） 参加者数：34 人
第 3 回	平成 24 年 6 月 24 日～25 日	【持続する力】パワーを生み出す組織の力	横田能洋氏（特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ常務理事・事務局長） 参加者数：32 人
		【推進する力】ここで差が出るマネジメント	片山信彦氏（特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン事務局長） 参加者数：32 人
		【育てる力】成長する人づくり	横田能洋氏（特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ常務理事・事務局長） 参加者数：31 人

第4回	平成24年7月6日～7日	【巻き込む力】 思いを受け止め共感を広げるボランティアコーディネート	水谷綾氏(社会福祉法人大阪ボランティア協会事務局長) 参加者数: 27人
		【整える力】 安心・納得・自己実現の労務管理	家村啓三氏(東京都社会保険労務士会理事/社労士家村事務所所長) 参加者数: 27人
		【組む力】 健全で成果が出るパートナーシップ	手塚明美氏(特定非営利活動法人藤沢市市民活動推進協議会理事・事務局長) 参加者数: 27人
第5回	平成24年7月23日～24日	【振り返る力】 やれば役立つラクラク評価	片山信彦氏(特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン事務局長) 参加者数: 33人
		【説明する力】 組織を伝えるための会計	三澤章氏(特定非営利活動法人あおもりNPOポートセンター常務理事・事務局長) 参加者数: 32人
第6回	平成24年8月6日～7日	【伝える力】 組織を伝えるコミュニケーション	松井薫氏(株式会社電通シニア・クリエイティブ・ディレクター) 参加者数: 31人
		【広げる力】 組織を広げるコミュニケーション	松井薫氏(株式会社電通シニア・クリエイティブ・ディレクター) 参加者数: 29人

### 【メンバー研修等一覧】

第1回全体合宿	平成24年9月1日～9月2日	宮城県 秋保温泉 岩沼屋
第1回自主勉強会	平成24年10月19日	大船渡市・北里大学セミナールーム
第2回自主勉強会	平成25年1月18日	紫波町・オガール
第1回追加研修	平成25年3月13日～14日	北上市 さくらホール

### ○被災地の現状と支援情報の発信事業（助成事業：三菱商事復興支援財団）

被災地の現状をホームページ等を活用し外部の支援者に発信することで、震災を風化させず関心を持ち続けてもらうとともに、様々な支援情報を沿岸地域で活動する団体や個人に発信し、継続的な活動の一助になることを目的とした事業です。活動を行うにあたり職員1名を雇用し、情報収集やホームページの更新作業を行いました。また、団体の活動の周知を行うためのパンフレットの製作も行いました。

#### 【5/1～3/31までのホームページ更新回数】

活動の記録 更新 計200件

新着情報とお知らせ 更新 計213件

※ツイッター・フェイスブックについては上記更新と連動して更新しました。

### ○伝えるコツ現地開催調整事業（委託事業：株式会社電通）

「伝えるコツ」はNPOの課題の一つである広報力の向上をめざし、電通の社会貢献活動の一環として、NPOとともに取り組んでいるプロジェクトです。今年度は被災地支援の一環として、被災地で活動する団体の広報力向上を目指し、平成24年11月に大槌町で、平成25年3月に宮古市で講座を開催しました。当法人は共催団体として参画し、開催地の協力団体と共に、事前の現地コーディネートや当日の運営サポート等を行いました。

#### - 伝えるコツ開催一覧 -

開催場所	日時	場所	現地協力団体	参加者数
------	----	----	--------	------

大槌会場	平成 24 年 11 月 28 日	大槌町役場 中央公民館 大会議室	一般社団法人 おらが大槌夢広場	約 30 名
宮古会場	平成 25 年 3 月 15 日	宮古市総合福祉センター 健やかホール	社会福祉法人宮古市社会福祉協議会 三陸コネクション 地域コーディネートセンターみやこ	約 35 名

### ○海洋再生可能エネルギーに対する意識調査等にかかる事業（委託事業：一般社団法人 海洋産業研究会）

岩手県における三陸復興・海洋エネルギーの導入調査の一環として、海洋再生可能エネルギー実験施設導入に対する市民感情を把握するための調査を、地元の市民団体等の状況に精通している弊法人へ、一般社団法人海洋産業研究会より委託を受け行ったものです。ワークショップを通じた市民参画へのきっかけづくりと産業支援の側面から、釜石市においてワークショップ開催のコーディネータや、地海洋再生可能エネルギー実験施設に対するアンケートによる意識調査を、特定非営利活動法人アットマークリアス NPO サポートセンターと協働で実施しました。

### ○東日本大震災現地 NPO 応援基金（助成事業：認定特定非営利活動法人日本 NPO センター）

「県内外のマッチング機会の創出」「支援体制の構築」「情報発信力の強化」を本事業の方針とし、総括マネージャーの雇用継続やホームページの再構築に取り組んだ事業です。事業に縛られない統括マネージャーを配置したことにより、様々な事業（行政補助事業、民間委託等）の構築が可能になったとともに、他団体、機関、行政の会議やイベントに参加することが容易となり、様々な協働事業を構築することができました。また、本事業により、団体のホームページを新たに構築し、より充実した情報発信の基盤を整備しました。

\*今年度その他事業は行っておりません。

## 3 主な会議・行事等開催日程

### ○通常総会

平成 24 年 5 月 23 日（金）いわて連携復興センター北上サテライト  
出席者 11 名（来賓 16 名）

### ○理事会

第 1 回 平成 24 年 4 月 10 日（水）11：30～ IFC 北上サテライト 出席者 4 名  
 第 2 回 平成 24 年 5 月 14 日（月）13：30～ IFC 北上サテライト 出席者 5 名  
 第 3 回 平成 24 年 5 月 21 日（月）12：30～ IFC 北上サテライト 出席者 5 名  
 第 4 回 平成 24 年 6 月 28 日（月）12：30～ アイーナ 805 号室 出席者 6 名  
 第 5 回 平成 24 年 8 月 2 日（木）10：30～ IFC 北上サテライト 出席者 5 名  
 第 6 回 平成 24 年 12 月 3 日（月）15：15～ IFC 北上サテライト 出席者 5 名  
 第 7 回 平成 25 年 1 月 29 日（火）14：30～ IFC 北上サテライト 出席者 5 名  
 第 8 回 平成 25 年 2 月 16 日（月）10：00～ アイーナ 815 号室 出席者 4 名  
 第 9 回 平成 25 年 3 月 19 日（火）15：30～ IFC 北上サテライト 出席者 4 名

## 4 運営に関する報告

### ○会員数（平成 25 年 3 月 31 日現在）

正会員：11 名（個人正会員）

### ○加盟団体（平成 25 年 3 月 31 日現在）

NPO 法人アットマークリアス NPO サポートセンター（釜石市）

NPO 法人レスパイトハウス・ハンズ（一関市）

NPO 法人やませデザイン会議（久慈市）

NPO 法人いわて地域づくり支援センター（盛岡市）

NPO 法人風・波デザイン（紫波町）

NPO 法人花巻市民活動支援センター（花巻市）

NPO 法人いわて NPO-NET サポート（北上市）

NPO 法人夢ネット大船渡（大船渡市）

NPO 法人カシオペア連邦地域づくりサポーターズ（二戸市）

NPO 法人いわて NPO フォーラム 21（盛岡市）

以上